

## 評価基準

評価項目		評価の視点	重要度
1.PPA事業	(1) 設備工事費	設備工事費をPV合計出力で割戻した場合の1kWあたりの単価が抑えられており、当社にとって費用対効果が高い提案であるか。 特に、太陽光発電設備の稼働や当社収益に直結しない費用（例えばフェンスや防草シートなど）が抑えられているか。（既存施設への影響を抑えるための対策費用は除く）	高
2.設備設置仕様	(1) 太陽光発電設備	提案内容に具体性があり、太陽光発電設備の設置場所、設置方法、設備仕様は妥当であるか。	高
	(2) 既存設備への影響	パネルや架台の重量、設置方法などが既存設備への影響が小さいものとなっているか。	高
	(3) 安全性	耐荷重や耐風圧等の安全面が検証され、災害時等においても構造安全性への影響を鑑みているか。	
	(4) システム構成	平常時や非常時に、当社が施設への立入りや人的作業（遠隔操作による状態監視ができる範囲、自動復帰など）を極力少なくなるシステム構成となっており、維持管理・メンテナンスが円滑にできるような提案であるか。	
	(5) 温室効果ガス削減量	温室効果ガス排出削減に対する費用対効果が優れた提案であるか。	
	(6) 保証	機器に関する保障・施工に関する保証の内容、範囲、期間などが充実しているか。	高
	(7) 災害レジリエンス	災害・非常時などの太陽光発電設備の活用方法や当社の事業継続の視点からの有効な提案があるか。	
3.実施体制	(1) 施設運営への配慮	資材搬入や騒音・振動対策、停電工事など施設運営への影響を抑える提案であるか。	
	(2) リスクヘッジ	当社のPPA事業実施に伴い、提案内容に沿った形のリスクが明確に示されており、そのリスクについて低減・対応できる提案がなされているか。	
	(3) 類似事例	過去に国の補助金（環境省が望ましい）を活用した施工事例や類似の設計・施工実績（重要な公の施設が望ましい）があり、確実な業務実施が見込まれるか。	
4.スケジュール	(1) 工事遂行能力	工事請負契約の締結後から引渡しまでの工程が具体的かつ明確であるか。	高
	(2) スケジュール管理	実現可能かつ時間的余裕のあるスケジュールとなっているか。	
5.その他	(1) ヒアリング審査	審査委員会によるヒアリングにて、提案内容に対する質疑・要望に対して、改善策の提案や明確な回答が行われたか。	
	(2) 独自提案	事業目的を補完または増強する有効な独自提案がなされているか。	